

2015年度事業計画(案)  
自:2015年1月1日 至:2015年12月31日

特定非営利活動法人 視覚障害者パソコンアシストネットワーク

## 1. 活動方針

2015年度もSPANにとって厳しい年となりそうです。2013年度から続いている赤字体質は2015年度もすぐには改善されそうもありません。

これを少しでもよい方向に向かわせるため、2015年度には以下のような対策を講じたいと考えています。

- (1) 講座・職業訓練受講者の確保
- (2) 企業研修などの事業受託の促進
- (3) 寄付金、助成金の確保
- (4) 新規事業の開拓

具体的には以下のような活動を展開していきます。

- (1) ほかの団体が開催するイベントなどで発表や展示を行い、SPANの活動を外部に発信していく。
- (2) 広報誌、Webサイト、メール、リーフレットなどの媒体を利用してSPANが開催する講座などをPRする。
- (3) セミナー開催や企業向け啓発ビデオの活用を通して企業やほかの団体などからの講座受託を目指す。
- (4) 認定NPO法人の認証取得への準備を行い、寄付金確保の体制を作る。
- (5) 賛助会員との連携を深め、SPANを支援していただく体制づくりを行う。
- (6) 助成金や事業委託の情報を常に把握し、可能なものがあれば積極的に取り組む。
- (7) グループ講座、遠隔パソコン講習、また立体コピー教材の提供などの新規事業を積極的に実施していく。
- (8) 事業の実施などで連携できる企業や団体などがあれば積極的に関係を深める。

もちろん、これらは必ずしもすぐに結果が出るというものではないかもしれませんが、こうした地道な活動が将来につながると思っています。

ただ、SPANの活動目的はあくまで「視覚障害者のICT利用促進」ですので、上記の活動はその目的にかなったものでなければなりません。

そのために、以下のような活動も実施していきます。

- (1) 無料体験・相談会を開催して多くの人にICTに触れていただく。
- (2) 視覚障害者職業スキルアップセミナーを開催して視覚障害者の就労促進に努める。
- (3) Office 2013などのマニュアルを制作してWebサイトで公開し、視覚障害者やその支援をしていただく方の便宜を図る。
- (4) 視覚障害者や家族、また関係者からの相談があれば随時対応していく。

このほか、これまで続けてきたインストラクター養成講座やメールマガジンによる情報提供といった活動は、SPANのベースとなるものですので、これからも大切にしていきたいと考えています。

会員向けの活動としては、昨年から続けてきたSPANサロンを2015年度も継続し、2月を除いた毎月開催していきます。内容も会員のみなさんからの声を聴きながら、より魅力的な会にしていければと思います。

また、会員向けに毎月発行している「SPANニュース」も引き続きお届けして会の活動を会員のみなさんと共有していきます。

このように、2015年度はSPANにとって厳しい年となりそうですが、会員のみなさんと一緒に乗り越えていきたいと思っています。

そのためには会員のみなさんのお力が不可欠です。

ぜひ、SPANの目標である「一人でも多くの視覚障害者にICTを活用してもらおう」という理念に向かって、一緒に活動していきましょう。

## 2. 活動計画

2015年度には以下の活動を計画しています。  
(別紙「2015年度活動計画」参照)